

～「死ぬな」「逃げろ」「助けろ」～

吉岡地区タウンミーティング ～地域防災対策～



令和元年10月31日（木）19：00～

西条市 経営戦略部 危機管理課

防災情報レベル化の内容

警戒 レベル	防災情報	住民の行動
5	災害の発生	命を守る最善の行動
4	避難勧告・指示	避難
3	避難準備の情報	高齢者など避難
2	注意報	避難備え確認
1	数日以内に警報級の可能性	心構え

警戒レベルの低い方から

▼レベル1は、数日以内に大雨が予想される時

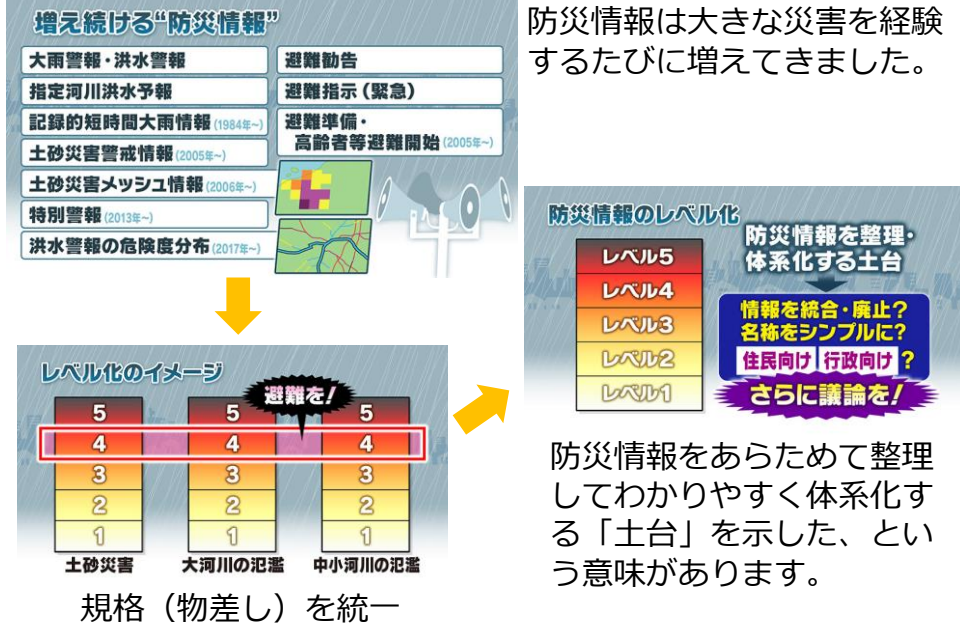
▼レベル2は、注意の呼びかけ

▼レベル3は「避難準備の情報」で、高齢者などは避難を開始する

▼レベル4は「避難勧告」や「避難指示」で、速やかに避難所に移動する、
直ちに命を守る行動をとる

▼レベル5は「災害の発生」で、命を守る最善の行動をする

防災情報レベル化の狙い



Question 自主避難とは？

Answer

- 自主避難とは、災害時に市が発令する
- 「【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始」
 - 「【警戒レベル4】避難勧告」
 - 「【警戒レベル4】避難指示（緊急）」
 - 「【警戒レベル5】災害発生情報」

を待たずに、自主的に避難することをいいます。これは、大雨・台風接近などの自然災害や大規模事故などで身の回りに危険（リスク）を感じ、個人または家族単位で自主的に行う避難を意味します。

《自主避難を行う場合》

(1) 避難先の確保

自主避難を行う場合には、親戚宅や知人宅など安全な場所を事前に確保してください。確保出来ない場合には、公民館、市役所危機管理課又は、地元の自治会での決め事がある場合はその手順にそって連絡を入れ、自主避難所の開設を依頼してください。

(2) 避難先への持ち物

市からの**公的な支援はありません**ので、**避難中の食事や生活必需品（着替え、寝具等）はご自身で準備し持参してください**。

■避難の方法と留意点

避難の方法	概要	留意点
自宅へ残る (屋内安全確保)	自宅などその場にとどまり、安全を確保すること	- 自宅が平屋の場合は、浸水深が50cm(床上浸水)を超えないこと - 浸水継続時間が長い場合は、食料、水、常用薬等の準備をしておくこと
市の指定避難所へ移動	市が指定する近傍の避難所へ移動し、安全を確保すること	- 事前に洪水ハザードマップで指定避難所の場所を確認しておくこと - 浸水継続時間が長い場合は、食料、水、常用薬等の準備をしておくこと
市内外の高台(親戚、知人宅等)へ移動 (縁故避難)	市内の浸水想定区域外へ移動し、安全を確保すること	- 避難経路の浸水深を確認すること - 移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること - 食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと - 移動する前に通行止めや渋滞状況を確認しておくこと
隣接市町へ移動 (広域避難)	隣接市町の浸水想定区域外などへ移動し、安全を確保すること	- 避難経路の浸水深を確認すること - 移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること - 食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと

雨が強くなる前、暗くなる前 早めの避難を！

◆避難行動時の危険性

【実験データ】

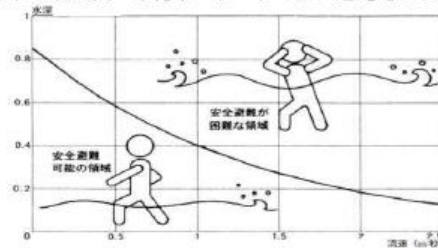
浸水深が0.5m(大人の膝)程度で、氾濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となります。

【洪水氾濫時の移動困難事例】

平成24年7月九州北部豪雨での沖端川の堤防決壊で氾濫流により移動が困難となっている。

水深は、ガードレールとほぼ同じ高さに氾濫水の水面があることから0.5m～0.6mと推算される。

イラスト出典：常総市ハザードマップ避難時の心得



出典：水害ハザードマップ作成の手引き



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

◆避難行動時の危険性

【氾濫水は濁っている】

氾濫水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は、見えません。

やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【平成27年9月関東・東北豪雨時の氾濫流の流速】

鬼怒川決壊地点近傍では、非常に速い流速が発生していました。

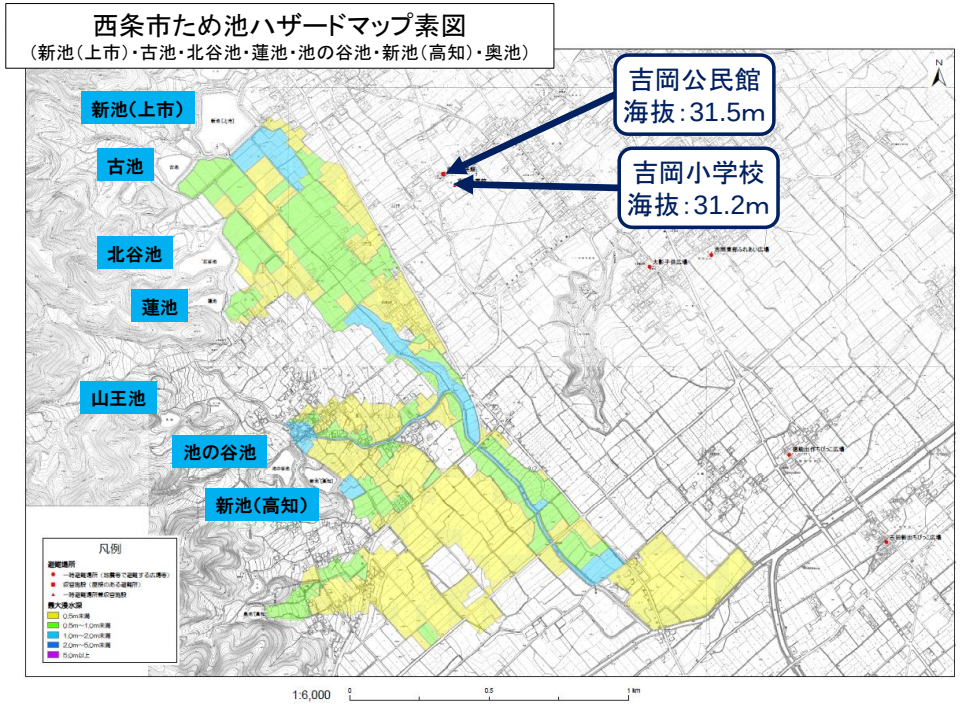
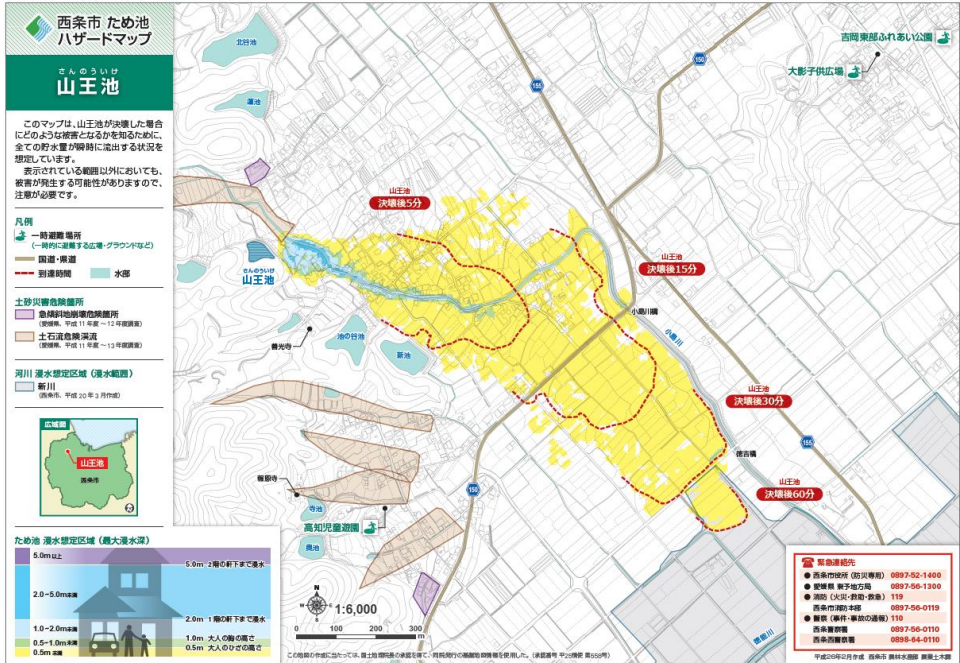


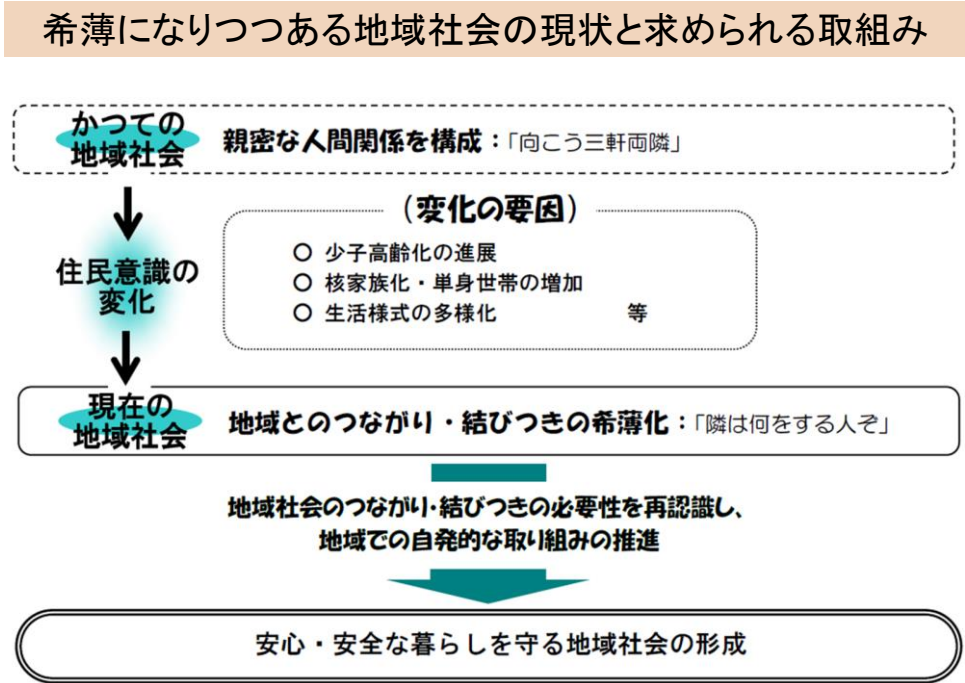
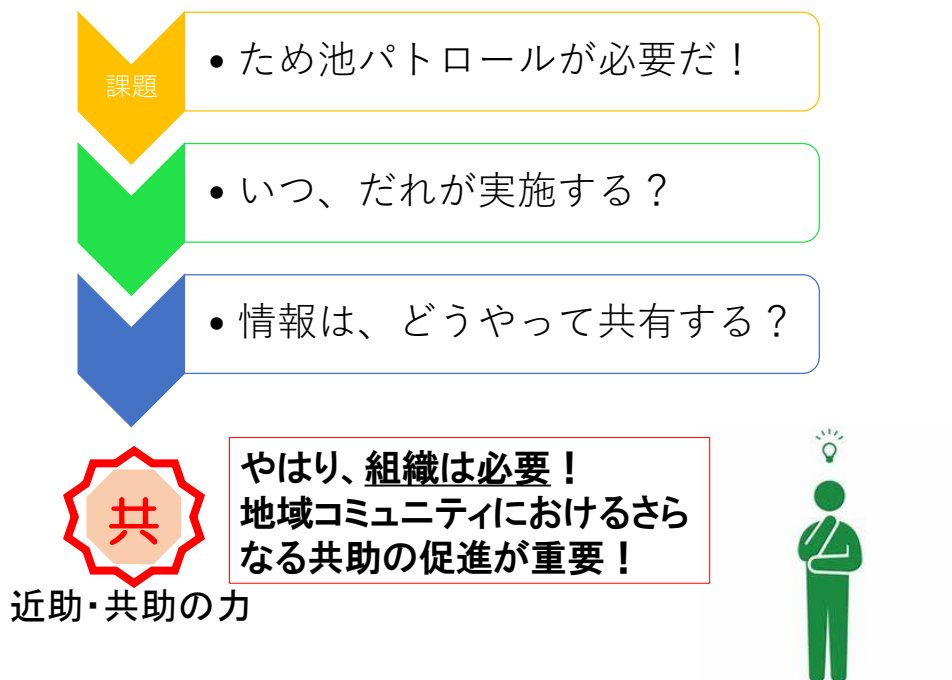
提供：鬼怒川堤防調査委員会
(近隣住民の方から提供)

http://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/river_bousai00000101.html

土砂災害ハザードマップ







地区防災計画

平成25年6月に災害対策基本法が改正され、市町村の一定の地区内の居住者及び事業者（地区居住者等）による自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が創設されました。

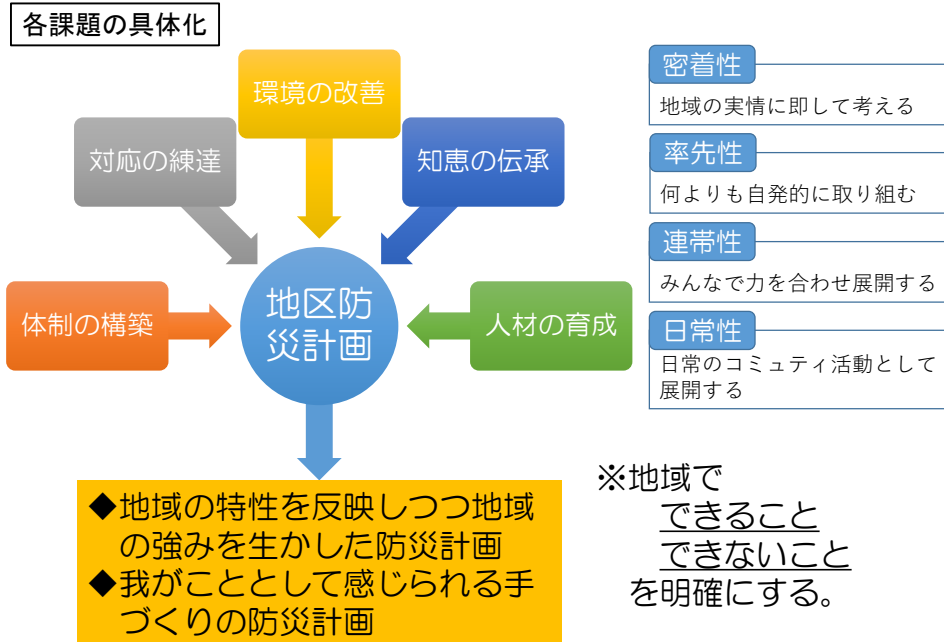
本制度は、市町村の判断で地区防災計画を市町村地域防災計画に規定するほか、地居住者等が、市町村防災会議に対し、**市町村地域防災計画に地区防災計画を定めることを提案することができる仕組み**（計画提案）を定めています。

地区防災計画の策定を通じて、自主防災組織や消防団・水防団等これまでも地域で活動している人々に加え、地区の住民や事業者が協力し、地区の防災力向上に向けた実践的なルールをまとめ、共有することができる。

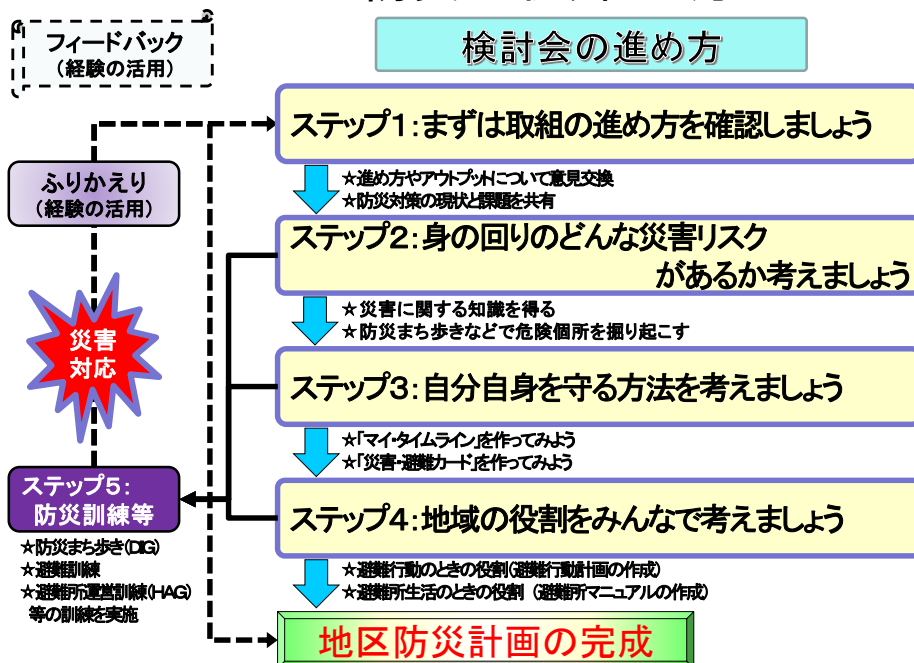
幅広い主体と自主防災組織の連携、校区を拠点とした活動



地区防災計画作成の考え方



地区防災の取り組み方



検討の過程で

☑リスクを認識できる

- ・ 個人ごとの違いを認識できる
- ・ 災害ごとの違いを認識できる

☑防災・減災行動が具体的にわかる

- ・ いつ、どこへ、どこを通過して避難
- ・ 地域での役割
- ・ 事前の準備は、いつ、どのように

☑コミュニケーションの輪が広がる

- ・ 意見交換を通じて知り合いが増える
- ・ ご近所とのつながりが強くなる

※回数を重ねるごと、継続することによって、さまざまな効果が得られます。

防災・減災について、行政との連携



✕ 依存しない
✕ 押し付けない



実行の主体

- ◆ 防災説明会の開催
- ◆ 防災訓練や防災イベントの企画・実施
- ◆ 防災に関する計画の作成

建設的な議論
ができる
フラットな関係

- ◇ 資料の提供やアドバイス
- ◇ 訓練・イベントの支援
- ◇ 新しい情報の提供
- ◇ 新しい取り組みへの依頼

「災害に強いコミュニティへ！」

色々な防災訓練やイベント

地域を防災的な視点から点検し、防災マップを作製

防災
まち歩き

防災クイズに答えながら街中を歩き、地域の防災について学ぶ

防災ウォーク
ラリー

実際の街中を会場として防災訓練を実施する

まちなか
訓練

担架による荷物運び競争や土のうづくり競争など、「防災」の視点を取り入れた運動会

防災
運動会

クロス
ロード

災害時に発生する様々な問題について検討しあう

DIG(災害
図上訓練)

想定した災害について、地図上で災害対応について話し合う

本部運営
訓練

避難
訓練

炊き出し
訓練

給水
訓練

HUG
(避難所
運営ゲーム)

避難所
運営・
宿泊訓練

他の訓練現場を見学することで、訓練の準備や進め方などの理解が深まります

自分たちの命は、自分たちで守る



7月豪雨災害のとき、自分たちで作った地区防災計画により難を逃れた大洲市三善地区や松山市高浜地区のように災害に強い地区づくりをめざしましょう！